

2004/02

ミニ大通 だより

祭り此處彼処

ミニ大通の拡大版、と
いうより、そもそも原
型、大通公園で、今年も
雪祭りが始まります。雪
像の静寂なたたずまい
と、祭りが演出する陽氣
なにぎわい。対照的な二
つの空気が、ぎこちなく
交差する一週間です。

かつてなじんだ冬祭り
は雪の純白とは無縁でし
た。京大の正門前に屋台
が並ぶ吉田の節分祭。「商
売繁盛で 笹もつてこ
い！」とついぶるダイレ
クトなかけ声の西宮えび
す。綿あめ、甘酒、何か
の壺焼き。暗がりを照ら
す白熱球、その自家発電



2004/03

ミニ大通 だより

君の名は

自分の名前、好きです
か? 私のは祖母が中心に
なってつけられました。
女子とも男子ともこれ
る名前。小さい頃、母が「さ
ん」づけで呼ぶのに閉口
し、「ちゃん」にしてほし
い、と抗議した覚えがあ
ります。せめて、その方
が可愛らしく聞こえる気
がしたので。名字も問題
でした。とても珍しかつ
たのです。学校では、ク
ラス替えのたびに先生か
だつのがいやで、小さい
声で顔を真っ赤にして応
えました。あの内気な少
女は今いすゞ。

中学生の頃は、ふと、ノ
ートに好きな人の名前を
書いたらしくて。そ
してまたあわてて塗りつ
ぶしたりして。ただの文
字の組み合わせなのに、
名前になつた途端、とき
めく不思議。たかが、され
ど、名前のチカラ。

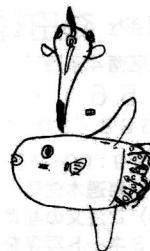
最近、ミニ大通に集ま
る鳥たち。スズメ、カラ
ス、ひよどり。そして黒
い尾を上下して歩ぐ、名
前を知らない、小さな白
い鳥。君の名は?

2004/04

ミニ大通 だより

光る海

ミニ大通は白から黒、
そして緑へ衣替え中。春
の訪れば、いくつになつ
てもそわそわします。今
年のお花見はどうからへ?
そして、春は桜のほか
にもう一つ。海でしよう。
哲的な冬の海にくら
べ、「ひねもすのたりのた
り」の春の海。小さく寝
息を立てているように、
きらきら光り、穏やかに
たゆたう海。遠くに震ん
でいるのは淡路島。そん
な瀬戸内の海が私の原風
景です。



2004/05

ミニ大通 だより

脱力空間

今日は五月五日。鯉の
ぼりが空を泳いでいま
す。風上に向かって遡上
する力強さ…よりも、五
月のそよ風に漂う様子
が、何とも気持ちよさげ
です。

水中の生きた魚もま
た、重力から開放されて
泳ぐ姿が心地よさそう。
スイスイ、ツーっと、肩
のこらない動きは、あか
ず眺められます。

そよ風、小川のせせら
ぎ、それら自然界のいろ
んな現象が、「1/4 ゆら
ぎ」に由来のリラックス

効果をもつ、という話題
が数年前から注目されて
います。規則性の中に織
り込まれた意外性「ゆら
ぎ」が、ほどよい刺激を
生む、らしいのです。ブ
ールや海で、仰向けの耳
に、たぶたぶと打ち寄せ
る水の音は、極上のゆら
ぎ音楽といえるかもしれ
ません。魚たちも聴いて
いるのでしょうか。

ミニ大通にも以前は小
さな川が流れ、魚が泳い
ていたそうです。水のあ
る風景、もう一度見てみ
たい気がします。

2004/06

ミニ大通 だより

おいしい花鳥風月

いま、手元の和菓子の
本で「練りきり12ヶ月」
という頁を眺め、うつと
りとしていました。練り
きりは、白あんべースの
生地の細工もの。茶席の
主菓子によく使われま
す。3~4四方ほどの中の世界
に、巧みに再現されるのは
青かえで、秋の月など
四季折々の花鳥風月。こ
の本では六月の意匠は
鮎。清流の音をさえ聞こえ
てきそうな見事な出来映
えです。



六月の和菓子といえ
ば、京都で出回る「水無
月」。あでんのコンニャク
ぐらいの三角形で、半透
明のういろうの台に、小
豆が散りばめられています。
その昔、高嶺の花だった
氷を模して、気分だけ
でも涼しく、と作られた
お菓子のようです。小豆
には魔除けの意味も込め
られ、今でも六月末日に
「水無月」を食べ、一年
の後半を無事乗り切る
う、という習わしがあります。

いちのミニ大通では緑
が生い茂り、目においし
い花鳥風月で毎日満腹。
ごちそうさま!

イル・ポスティーノ

大谷 薫

北4西14番地
272-7277

イル・ポスティーノ

大谷 薫

北4西14番地
272-7277

イル・ポスティーノ

大谷 薫

北4西14番地
272-7277

イル・ポスティーノ

大谷 薫

北4西14番地
272-7277